



西東京市立栄小学校

令和 2 年 5 月 1 1 日(月)

西 東 京 市 栄 町 2 - 1 0 - 9

TEL 0 4 2 (4 2 3) 0 2 7 6

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-sakae/index.html>

戦うべきは ～ 一日も早い学校の再開を願って

5月の行事予定

校長 長尾 信一

8日の朝刊によると西東京市内でコロナウイルスに感染された方は7日現在で42人となっていました。感染された方やそのご家族の苦しみ、治療にかかわっておられる方のご努力は大変なものだろうと推察されます。その一方で主にネット上では感染者やその住所を特定し、非難し、排斥する言動があふれてもいるようです。罹患してしまった原因は看病のためだったかもしれません。いつの間にかどこかでうつってしまったものなのかもしれません。実際、新たに感染された方の多くは医療従事者だというニュースも伝わってきます。もしも自分の身近な人が感染したらどんな思いで毎日を過ごすことになるのでしょうか。「バッシングを受けるかもしれない、排斥されるかもしれない」という恐怖とも闘わなければならないのでしょうか。

生徒への素敵なメッセージが世界中で紹介されたイタリア ミラノの校長先生は「このような出来事での最大のリスクの一つは、社会生活や人間関係の荒廃です。見えない敵に脅かされていると感じる時、人間の本能はそこら中に敵がいると錯覚させます。私たちと同じ仲間まで脅威として、また潜在的な攻撃者としてみなしてしまう危険があるのです。私たちには現代医学があります。合理的な思考を使いましょう。それが私たちの社会と人間性を守る歴史の遺産です。」と語っています。また、同日の朝日新聞には「疫病禍 江戸の知恵に学ぼう」という記事が書かれていました。国文学研究資料館のロバート・キャンベル館長が資料館のホームページに、助け合って疫病に立ち向かう江戸時代の庶民の様子を紹介する動画を公開しているというものです。それによると日本には疫病とともに歩んできた長い歴史があり、例えばコレラで亡くなった方を近所の人たちが資金を出し合って葬式を出すなど、お互いを支え合うという文化が昔からあったことが紹介されているそうです。

私たち人間は「助け合う」というすばらしい力を持っています。その一方で差別したり偏見をもったりしてしまう残念な面ももちあわせてしまっています。ゴールデンウィーク中の人出を見ると、日本中のほとんどの人々が「助け合っている」ことを感じます。大切な人に会うことを我慢した方もたくさんおられることでしょう。こんな時だからこそ人間のもっている暗い面を消し去り、一日も早い社会の安定化を目指したい、一日も早く子供たちの元気な声であふれる学校生活を取り戻したい、と願うのです。

日	曜	行事等
1	金	開校記念日
2	土	
3	日	憲法記念日
4	月	みどりの日
5	火	こどもの日
6	水	休日
7	木	臨時休業 *学校ホームページ、一斉メールをご確認ください。
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

課題提出日のお知らせ

臨時休業中に取り組んだ課題を以下の日程で集めます。集めるものは各学年ごとにお知らせします。

1～3年生 5月18日(月) 4～6年生 5月19日(火) いずれも13時～16時30分

東昇降口で集めます。原則として保護者の方がご来校ください。ご都合の悪い方はご相談ください。

お問い合わせは 電話042(423)-0276 各学年担任または副校長まで